



令和6年度厚生労働科学研究費補助金

障害者支援施設や共同生活援助事業所、居宅支援における高齢障害者の看取り・終末期の支援を行うための研究

障害者支援施設やグループホームでの看取り 一緒に考えませんか？

意思決定支援の中で利用者が最期の場として事業所を選んだ場合、どのように対応していますか？

令和4年度時点で、看取りの希望があれば看取る予定の障害者支援施設等の割合

22.2 %

令和4年度1年間に看取りを行った障害者支援施設等の割合

3.4 %

※データは全てR5年度実態調査結果より

22.2%の障害者支援施設等の体制整備状況

看取りの方針準備中or有る	36.9%
看取りのマニュアル準備中or有る	26.6%
看取りの研修準備中or有る	26.8%

セミナー コンテンツ

1. 看取りの実態とこれから
2. 実践報告 わたしたちの看取り
3. 看取りマニュアルの概要と使い方
4. ミニシンポジウム

これからの看取りのあり方と課題を考える
— 意思形成・表出・実現について —

セミナー登壇者のご紹介



1 古川慎治
国立のぞみの園



1 松崎貴之氏
厚生労働省



2 荒井隆一氏
ロザリオの聖母会



2 恒松祐輔氏
つつし丘学園



3 根本昌彦
国立のぞみの園



4 本名靖氏
本庄ひまわり福祉会



4 庄司妃佐氏
東京福祉大学



4 鶴岡浩樹氏
日本社会事業大学
つるかね診療所




4 井上博氏
泉衆会

独立行政法人 国立のぞみの園

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2120-2

電話 : 027-320-1357 研修担当 : 槻岡(つきおか)・長井

E-mail : nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp



お申込み方法



QRコードもしくは
国立のぞみの園ホームページよりお
申し込みください
<https://www.nozomi.go.jp/>

参加費

無料

視聴後は、アンケートのご協力を
お願い致します

お申込み期間

令和7年2月18日10時~3月10日17時まで

配信期間

令和7年3月3日~3月17日

このチラシのデザインは、「マイホーム」をイ
メージしています。マイホームとは、一般
的に自分や家族のために購入または建設さ
れる住宅を指しますが、「自宅」という意味
以上の、安心感や居心地の良さを象徴する
言葉としても使われます

このセミナーは、令和6年度厚生労働科学研究費補助金「障害者支援施設や共同生活援助事業所、居宅支援における高齢障害者の看取り・終末期の支援を行うための研究」の一環で行います。

令和5年に実施した実態調査で、障害者支援施設等での看取りの対応が少ないことが明らかになった現状を踏まえ、これから看取りの対応が求められる事業所に向けに作成した看取りマニュアルの内容の紹介と、今後の障害者支援施設等での看取りのあり方に関するミニシンポジウムを、研究者と実践者で、中でも実践者には、グループホームと障害者支援施設を、また、看取りを実践している事業所とその必要性を感じ今後のあり方を模索している事業所の管理者に登壇していただき行います。

今後の高齢期の障害者支援のあり方を、安心感や居心地の良さを感じる最期の迎え方を、共に考える機会となれば幸いです。皆さまのお申し込みを心よりお待ちしております。